

男子 神森制覇、浦添準V

ハンド九州中学選抜

女子神森3位

ハンドボールの第37回九州中学生選抜大最終日は23日、福岡県の福岡市総合体育館などで行われた。男子決勝は神森と浦添の県勢対決で接戦となり、神森が浦添を25―24で下して頂点に立った。女子の神森は準決勝で松橋WINS（熊本）



決勝での県勢対決を制した男子神森=23日、福岡市総合体育館サブアリーナ（提供）

▽準決勝	神森中 26 18	春吉 Jr.
▽決勝	浦添中 25 23	重富中 (鹿児島)
▽準決勝	神森中 25 14	141
▽準決勝	浦添中 24 15	159

松橋WINS S熊本 17-11 神森中

県勢対決で神森 1点差競り勝つ

県勢対決となった男子決勝は1点差で神森が競り勝った。神森の山内昌悟監督は「子どもたちはハンドボールに対する情熱を持っている。日頃の積み重ねが勝利をつかんできた」と選手の戦いぶりを頼もしそうに振り返った。

前半はシュートチャンスまで持ち込むものの、シュートコースを的確に読んだ浦添のGKに阻止される場面も。相手エースらに得点され、接戦となった。

後半はシュートの打ち分けを意識し、相手GKとの駆け引きに対処。洲鎌光成と國吉健太がそれぞれ1△最多の計6得点を挙げ、猛追する浦添を振り切って勝利をつかんできた。

浦添とは練習試合でも対戦し、手の内を知り尽くしている相手でもあった。山内監督は「やるべきことをしっかりとやった成果」と選手らをたたえた。その上で「(大会では) 沖縄にはない県外選手のプレイスタイルを知ることができて、子どもたちも勉強になったと思う」と振り返った。

(渡真利優人)

©琉球新報 無断での転載、改変、複製、頒布を禁止します